

株式の状況

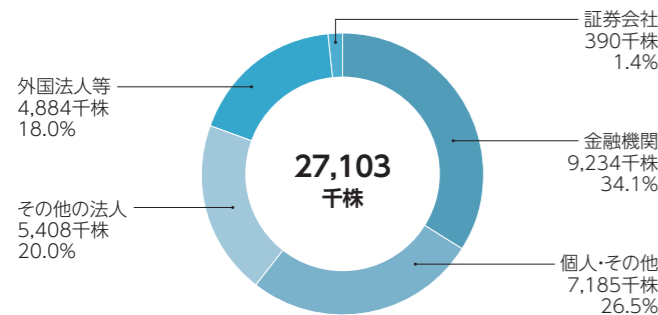
発行可能株式総数..... 108,000,000株  
 発行済株式の総数..... 27,103,291株  
 株主数..... 9,292名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,355	13.63
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,717	6.98
関西電力株式会社	1,460	5.94
株式会社三井住友銀行	1,085	4.41
三井住友信託銀行株式会社	658	2.68
ダイヘン取引先持株会	573	2.33
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	443	1.80
ダイヘングループ社員持株会	434	1.77
岩谷産業株式会社	349	1.42
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	335	1.36

(注)当社は2,489千株の自己株式を保有しておりますが、持株比率は当該自己株式を控除して計算しております。

所有者別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月開催  
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 【郵便物送付先】〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 【電話照会先】フリーダイヤル 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)  
 【インターネット ホームページURL】<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

単元株式数 100株  
 公告方法 当社のホームページに掲載いたします。  
<https://www.daihen.co.jp/gaiyou/koukoku.htm>

上場取引所 東京、福岡の各証券取引所  
 証券コード 6622

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様はお取引の証券会社に、証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

- 主な支払調書
- ・配当金に関する支払調書
  - ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引のある証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とお取引がない株主様  
次の窓口へお問い合わせください。  
三井住友信託銀行 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-782-031  
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

第158期  
報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

## 独創的な製品で社会課題の解決に貢献する「研究開発型企业」を目指してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに、ダイヘングループ第158期の報告書をお届けいたします。



代表取締役社長  
齋毛 正一郎

### 事業の経過及びその成果

当連結会計年度のダイヘングループの業績は、世界的な半導体需要の高まりに加え、生産自動化関連投資が堅調に推移したことから、売上高は1,606億1千8百万円(前期比10.7%増)となりました。利益面におきましては、素材や電子部品等の価格高騰の影響を受けたものの、売上高の増加とコスト削減の成果により、営業利益は141億9千1百万円(前期比20億8百万円増)、経常利益は157億9千万円(前期比20億2千7百万円増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、109億8千5百万円(前期比15億7千3百万円増)となりました。

### 設備投資の状況

当連結会計年度の設備投資につきましては、半導体製造装置の需要拡大に伴う生産・検査設備の増強関連投資、生産自動化関連投資、及び情報化投資などに44億2千万円実施いたしました。

### 資金調達の状況

当連結会計年度の資金調達につきましては、経常的な運転資金を金融機関からの短期及び長期借入金にて調達しておりますが、特筆すべき重要な事項はございません。

### 対処すべき課題

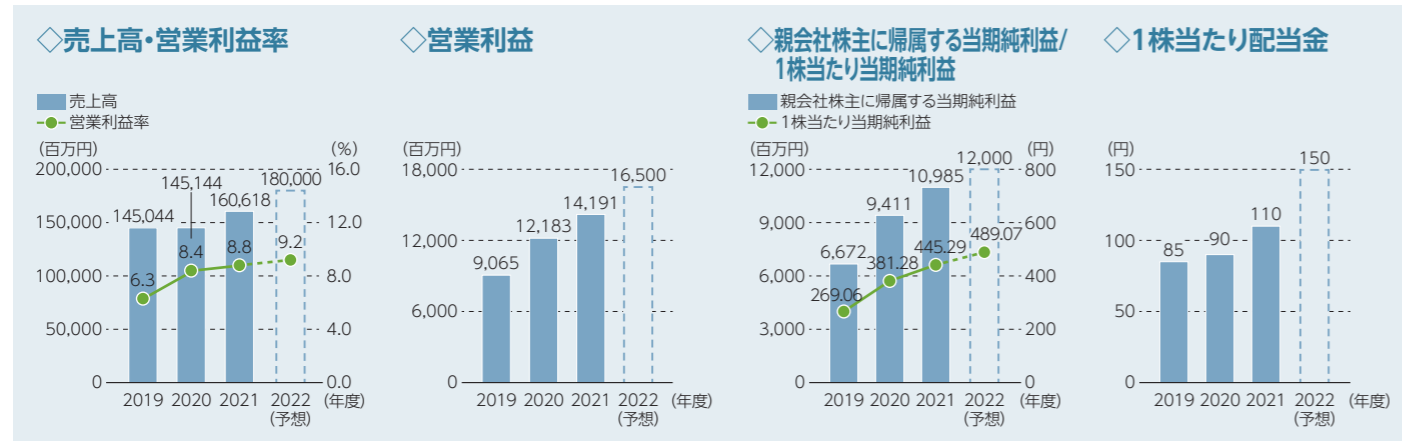
今後の見通しにつきましては、半導体関連投資の更なる増加や経済正常化に伴う設備投資の回復が期待される一方、新型コロナウイルスの感染再拡大や地政学的リスクの高まりに伴う部材価格の高騰と調達難が懸念されます。このような状況の下、引き続きコスト削減の取り組みを推進し、社会課題の解決に資する開発投資に重点的に振り向けていくことにより、各事業の強化、業績の向上に努めてまいり所存でございます。

### 今後の見通し

現時点での2023年3月期の連結業績は、売上高1,800億円(前期比12.1%増)、営業利益165億円(前期比16.3%増)、経常利益170億円(前期比7.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益120億円(前期比9.2%増)を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2022年6月



## セグメント別の状況

### 電力機器事業

#### 事業紹介

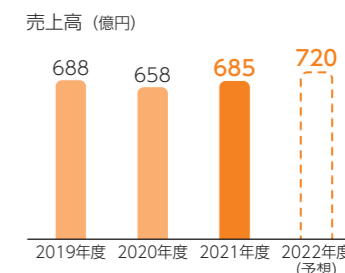
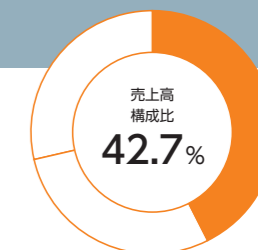
ダイヘンの原点である電力機器。国内で電力の利用が進んだ大正時代、当社は柱上変圧器のメーカーとして誕生しました。以来、変圧器のトップメーカーとして、信頼性に優れた機器を数多く供給。社会で欠かすことのできない電力の安定供給に大きく貢献してきました。現在では、再生可能エネルギーの活用拡大、EVの普及推進など、脱炭素社会の実現に資する製品・システムの開発に積極的に取り組んでいます。



非常用電源システム[V2Xシステム]

#### 営業概況

配電機器の更新投資が堅調に推移したことにより、売上高は685億7百万円(前期比4.0%増)となりました。一方で、素材価格高騰の影響などにより、営業利益は55億6千3百万円(前期比11億8千6百万円減)となりました。



### 溶接メカトロ事業

#### 事業紹介

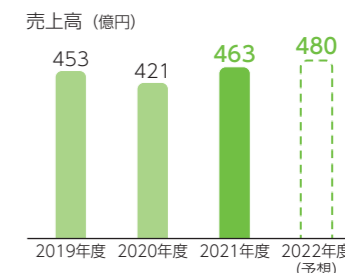
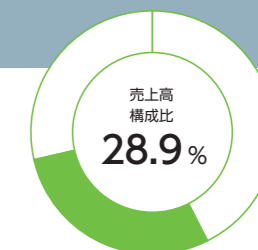
現代のものづくりに不可欠な要素技術の一つである溶接技術。自動車や列車、船舶、更には橋梁や鉄塔などの大型構造物に至るまで、溶接技術が重要な役割を果たしています。ダイヘンは独自の溶接制御技術を駆使し、生産現場のニーズに応える溶接機を提供してきました。また、溶接技術とメカトロニクスの融合を図り、溶接ロボットを開発。世界のトップメーカーとして溶接加工の自動化を進めるだけでなく、ハンドリングロボットのラインアップやアプリケーションの充実により、ものづくりに携わる様々な立場の人々の課題解決への貢献を目指しています。



レーザー・アークハイブリッド溶接

#### 営業概況

諸外国においてコロナ禍からの経済活動の正常化が進み、生産自動化関連投資が堅調に推移したことで、売上高は463億7千6百万円(前期比10.1%増)となりましたが、研究開発費の増強などにより、営業利益は38億2千万円(前期比7百万円増)となりました。



### 半導体関連機器事業

#### 事業紹介

現代の暮らしを豊かに彩るスマートフォンやタブレット機器、大型テレビ。これらの重要部品である半導体デバイスやフラットパネルディスプレイの製造現場で、ダイヘンのプラズマ発生用電源やクリーン搬送ロボットが活躍しています。世界中の工場で、365日24時間フル稼働の生産ラインを実現するため、当社の先進技術が役立っています。

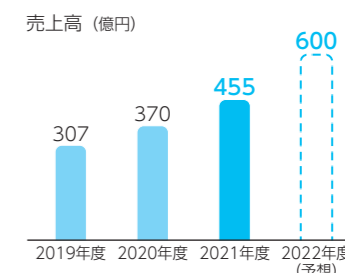
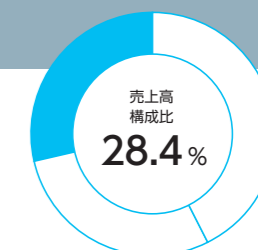


ウエハ搬送ロボット [ACTRANSシリーズ]

高周波電源 [AVANCERシリーズ]

#### 営業概況

情報通信技術の普及に伴い5G、IoT、AIなど幅広い用途で半導体の需要が急拡大したことに加え、世界的な半導体不足の解消に向けた積極的な設備投資が高水準で継続したことから、売上高は455億8千万円(前期比23.1%増)となり、営業利益は87億8千5百万円(前期比26億4百万円増)となりました。



### その他

売上高は1億8千7百万円、営業利益は5千6百万円となり、前期からの大きな変動はありません。

# トピックス

## Topics 1 Green Solutionsの取り組み

脱炭素社会実現への貢献を目指し、再生可能エネルギー導入拡大に資する制御技術・機器で構成する各種エネルギー・マネジメント・システム(EMS)やEV普及に不可欠な充電インフラ機器の販売拡大と開発強化に取り組んでいます。

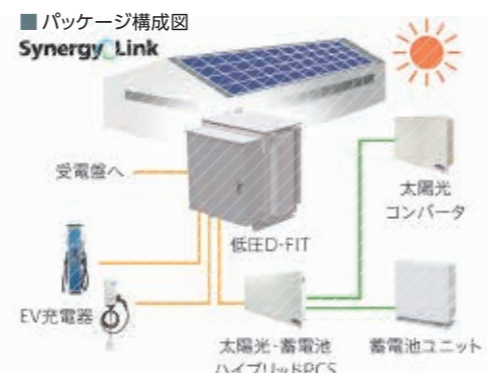
### 自家消費パッケージの販売開始

太陽光発電機器・蓄電池・EV用充電器を組み合わせた事業所・工場向けの「自家消費パッケージ」の販売開始しました。各機器に当社独自の自律分散協調制御技術「Synergy Link」を標準搭載することにより、太陽光発電電力の活用を最大化。事業所・工場のCO<sub>2</sub>排出削減効果をEMS非搭載と比べ最大1.5倍にします。

本製品をはじめとする標準パッケージを充実させることにより、再生可能エネルギー対応EMSの販売を加速していきます。

### EV充電システムのラインアップを強化

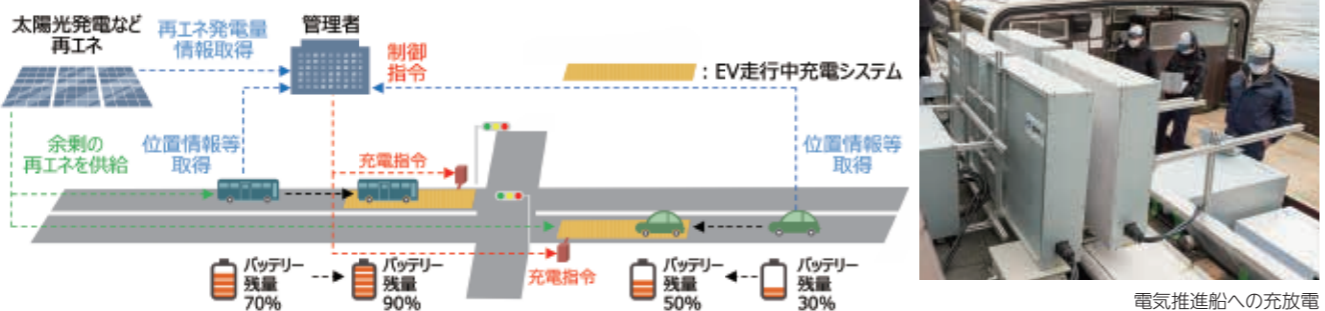
EVシフトによる充電器の需要増に対応するため、従来の30/50kW急速充電器、ワイヤレス充電システムに加え、EMS対応6kW普通充電器と180kW急速充電器を新たに市場投入しました。これらのラインアップにより当社は、あらゆるEV充電ニーズに応える「EV充電システム総合メーカー」として、販売拡大に取り組めます。



### ワイヤレス充電システム関連の取り組み

将来的な社会実装を見据え、ワイヤレス充電システムを活用した様々な実証実験を行っています。関西電力、大林組等とともに参画しているEVの「走行中充電システムに関する技術開発」が2021年11月にNEDOが公募する「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」における助成事業に採択されたことを受け、本格的に走行中充電システムの開発を進めています。また、「電気推進船向けの大容量ワイヤレス充電」など、様々な電動モビリティへのワイヤレス充電システムの実装にも取り組んでいます。当社は、これらの実証実験を通じて2025年大阪・関西万博の充電インフラへの採用を目指しています。

#### ■ 走行中充電システムのイメージ図



## Topics 2 Tailored Solutionsの取り組み

モノづくりに携わる様々な立場の人々に寄り添い、それぞれが抱える課題に応じた最適な解決手段の提供を志向し、労働力不足解消、3K作業からの解放、働き手や働き方の多様化等の社会課題解決はもとより、狭隘スペースでの自動化、設備管理の負担軽減、作業教育者の不足解消等に資する機器・システムの開発を進めています。

### ティーチレスによるロボット導入を推進

ロボットを動かさずに、iPadのカメラ撮影だけで簡単に教示ができる「ティーチレス機能」を開発しました。ロボットの教示に不慣れなユーザでも溶接箇所を選ぶだけで簡単にプログラム作成が可能となります。多品種少量生産に最適で、初めてのロボット導入にお役に立ちます。



### アーク溶接に最適な協働ロボットを開発

アーク溶接に最適な協働ロボットを開発しました。安全柵が不要となり、人とロボットの協働作業が可能となります。移設が容易な小型・ポータブル仕様でありながら、大型建造物等の現場にも適用可能。スパッタに強い機体に加え、低振動・高軌跡精度も実現しました。



## Topics 3 欧州でのロボットビジネス強化

### ドイツのシステムインテグレータ「フェミテック社」を買収

本年5月、ドイツのシステムインテグレータ「フェミテック社」を買収しました。今回の買収により、大手自動車向け大型システムに強みを持つ「ラゾテック社」、農業機械・建設機械・風力発電業界向け中小システムが得意な「フェミテック社」、当社の3社によるシナジー効果で欧州における一層の販売強化を図ります。



## Topics 4 半導体製造装置向け高周波電源について

### 高周波電源生産拠点への増産投資

5GやIoT等の情報通信技術の発展に伴う半導体の用途拡大を背景に、高周波電源システムの需要が拡大しています。

生産能力の増強のためダイヘン産業機器㈱の工場を増築するとともに、更なる自動化を進めることで効率化を図ります。

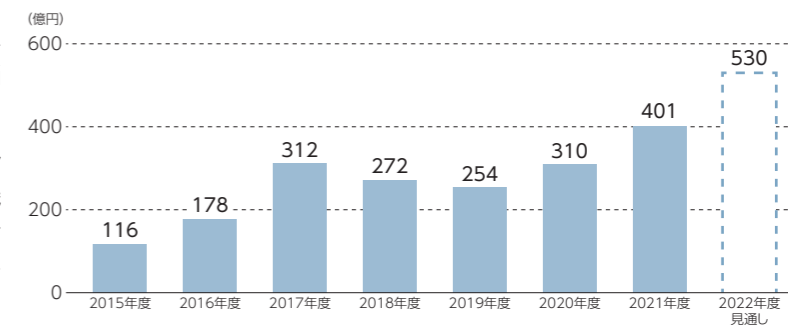


### 高周波電源の需要動向

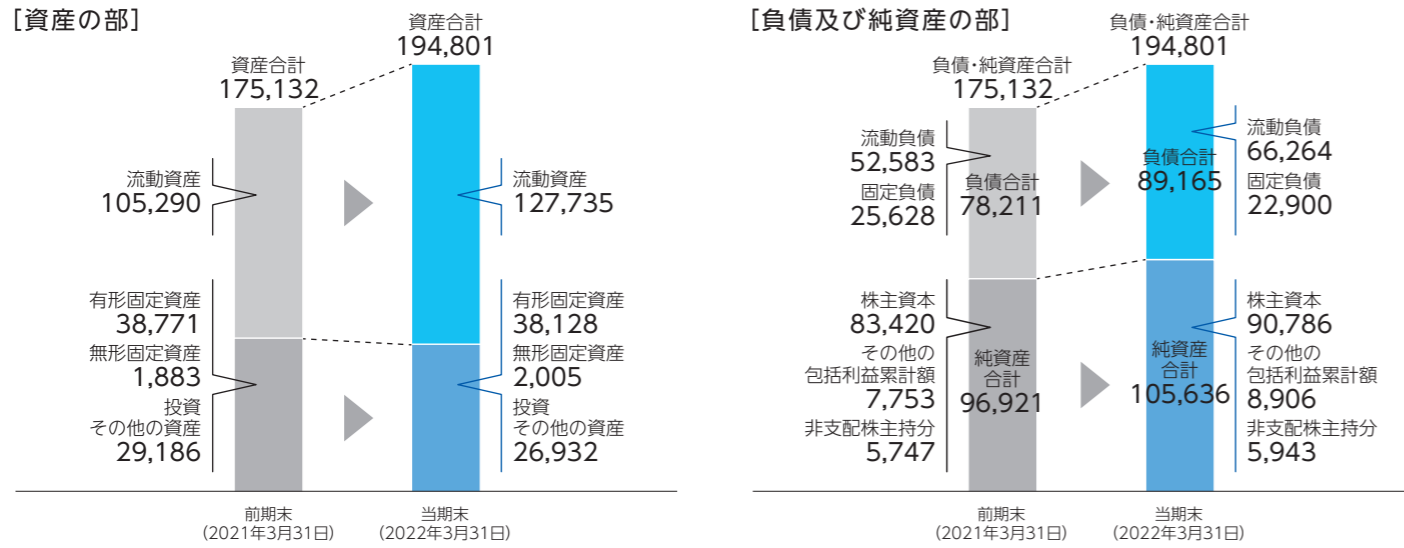
2021年度は、先端分野での半導体の需要が急拡大したことに加え、世界的な半導体不足の解消に向けた増産投資が高水準で推移しました。

2022年度もこれらの需要は継続する見通しであることに加え、DX、自動運転やIoT対応機器など情報通信技術の用途拡大も見込まれており、半導体関連投資の更なる増加が期待されます。

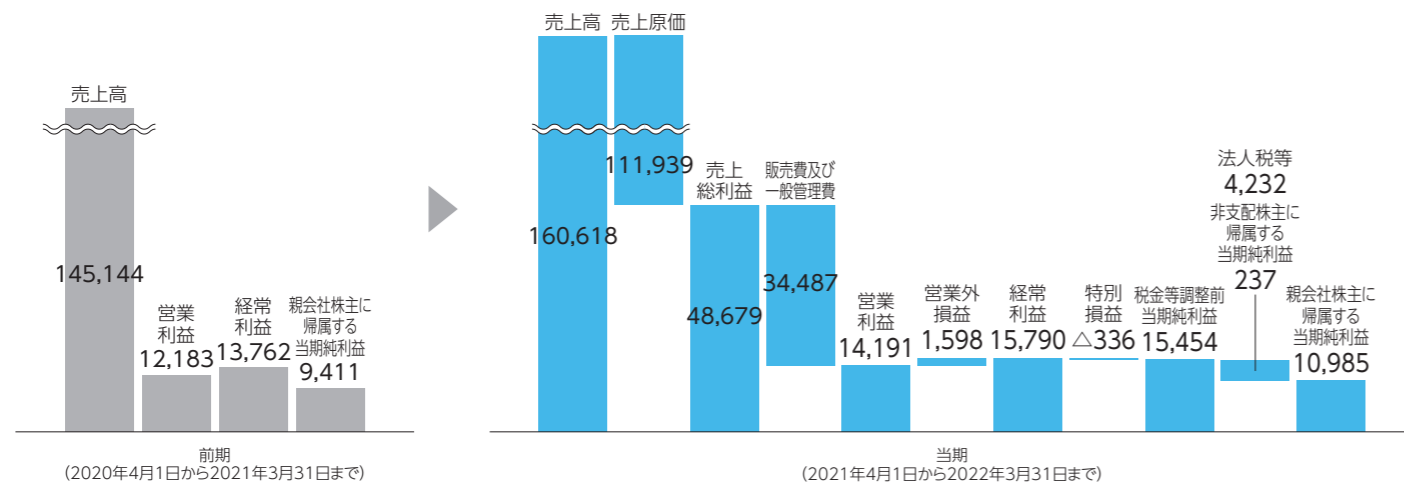
#### ■ 高周波電源システム売上高の推移



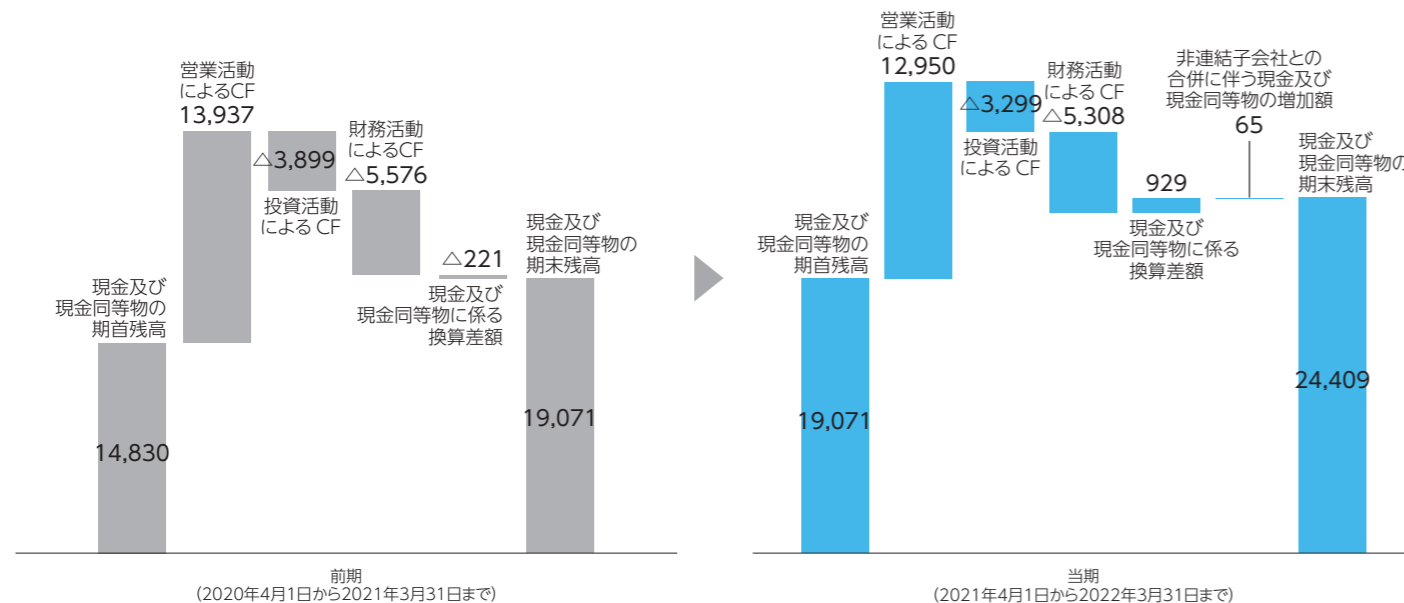
連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



会社概要

商号 株式会社ダイヘン  
(英文名)DAIHEN Corporation

設立 大正8年(1919年)12月1日

資本金 10,596百万円

従業員数 3,783名(連結)

本社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1番11号  
TEL (06) 6301-1212(代表)

事業所・工場 十三事業所(大阪市淀川区)、六甲事業所(神戸市東灘区)、三重事業所(三重県多気町)、兼平工場(大阪市福島区)、千歳工場(北海道千歳市)

営業拠点 北海道支社、東北支社、東京支社、中部支社、中国支社、九州支社

役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役会長	田尻 哲也
代表取締役社長	蓑毛 正一郎
取締役専務執行役員	加茂 和夫
取締役専務執行役員	森本 慶樹
取締役常務執行役員	木村 治久
取締役常務執行役員	和田 信吾
取締役	安藤 圭一
取締役	馬越 恵美子
取締役	藤原 康文
常勤監査役	射場 達也
常勤監査役	高橋 圭太郎
監査役	浦田 治男
監査役	吉田 正史
監査役	注連 浩行

関係会社 (2022年6月28日現在)

**国内**

四変テック株式会社  
株式会社キューヘン  
中国電機製造株式会社  
ダイヘン産業機器株式会社  
株式会社ダイヘンテクノサポート  
ダイヘン青森株式会社  
ダイヘンスタッド株式会社  
ダイヘン電設機器株式会社  
株式会社南電器製作所  
ダイヘンテック株式会社  
阪神溶接機材株式会社  
ダイホク工業株式会社  
ダイヘンビジネスサービス株式会社  
株式会社ダイキ  
ダイヘンエンジニアリング株式会社  
株式会社ダイヘン厚生事業団  
大一精工株式会社

**海外**

DAIHEN,Inc.  
OTC DAIHEN EUROPE GmbH  
OTC DAIHEN Asia Co.,Ltd.  
DAIHEN ELECTRIC Co.,Ltd.  
OTC DAIHEN Bangkok Co.,Ltd.  
DAIHEN Advanced Component,Inc.  
牡丹江OTC溶接機有限会社  
台湾OTC有限会社  
OTC機電(上海)有限会社  
DAIHEN KOREA Co.,Ltd.  
OTC機電(青島)有限会社  
ダイヘンOTC機電(北京)有限会社  
ダイヘン精密機械(常熟)有限会社  
OTC DAIHEN INDIA Pvt. Ltd.  
PT.OTC DAIHEN INDONESIA  
DAIHEN VARSTROJ welding cutting and robotics d.d.  
DAIHEN MEXICO S.A. de C.V.  
LASOtech Systems GmbH  
Femitec GmbH

IRカレンダー



ホームページ案内

IR・決算情報はホームページで公開しています。

●トップページ <https://www.daihen.co.jp/>

●IRページ <https://www.daihen.co.jp/ir/>

株式会社ダイヘンYouTubeアカウント

ダイヘンの新製品・新技術などをご紹介します。

<https://www.youtube.com/c/daihenjpn>

●会社紹介 <https://www.youtube.com/watch?v=VpceqOSedlg>

●2022国際ロボット展レーザー・アークハイブリッドコーナ実演動画 <https://www.youtube.com/watch?v=NhrfWwJva8o>